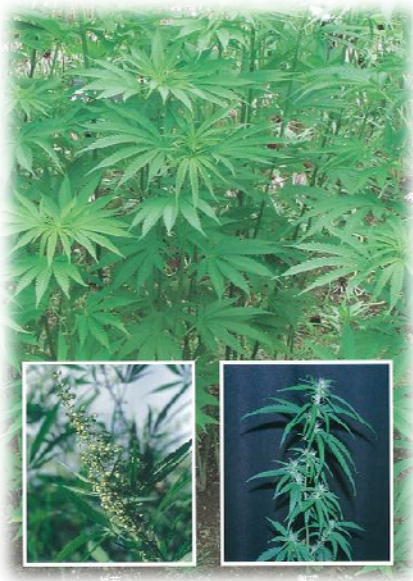


## ～大麻（アサ）の見分け方～

**\*大麻を見かけたら、抜かずに最寄りの保健所または警察署へご連絡ください\***



大麻（アサ）は成長が早く、大きい物は草丈3 mにもなりますが、種子を付けた後は枯れてしまいます。良く成長した茎は太く真直ぐに立ち、浅い縦すじが通っています。

葉：細長い柄の先に、3～9枚（通常は奇数）の小葉が集まっています（10～20cm）。

花：夏に咲き、雄花と雌花が別々の株につきます。雌株は葉の付け根に穂状の雌花を多数つけます。雌花を摘むと、樹液でねばねばします。

種子：やや平たい卵形。長さ4～5mm、幅3～4mm、1粒の重さは15～35mg、色は灰緑色～黒褐色で表面に網状模様があります。一端がややとがり、他の一端には果柄の跡があり、種子の両側には稜線があります。七味唐辛子の成分でもあり、鳥のエサとして販売されていますが、これらのものは発芽しないよう処理されています。



葉



花

### \*洋麻（ケナフ）：大麻と間違われやすい植物\*

麻と名の付く植物は、大麻以外にも亜麻（リネン）、苧麻（ラミー）、黄麻（ジュート）など多数あります。大麻と間違われやすい植物として、葉の形が似ている洋麻（ケナフ）がありますが、ケナフの葉は基部まで深く切れ込んでおらず、オクラやトロロアオイのような黄色または薄い黄色の大きな美しい花を咲かせます。

お問い合わせは・・・

宮崎県医療薬務課薬務対策室

宮崎市橘通東2丁目10-1

TEL 0985-26-7060

都城保健所

都城市上川東3丁目14-3

TEL 0986-23-4504

\*このページは、厚生労働省発行の「大麻・けしの見分け方」を参考に作成しています。

## けしの見分け方 ～植えてはいけないけし・植えても良いけし

**\*植えてはいけないケシを見かけたら、抜かずに最寄りの保健所または警察署へご連絡ください\***



### \*植えてはいけないけし

○ケシ (ソムニフェルム種) : 一重咲きの花は、花びら 4 枚で、八重咲きの花もあり、色は赤、桃、紫、白などです。開花期の草丈は 100~160cm で、基部は茎を抱き込むような形をしています。花が終わると、雌しべが発達してふくらみ、だ円または球形で、上部が平たい皿のような形をした大きな果実になります。

○アツミゲシ (セティゲルム種) : 花は、花びら 4 枚で、色は薄紫や赤があり、葉の大きさ、果実ともにソムニフェルム種よりも小型です。開花の草丈は 50~100cm で、基部は茎を抱き込むような形をしています。

○ハカマオニゲシ : ハカマオニゲシは、「植えても良いけし」の「オニゲシ」と外観が非常によく似ています。「オニゲシ」あるいは「オリエンタルポピー」の名前で園芸用に出回ることがありますので、注意してください。

### 植えてもよいけし



### \*植えてもよいけし (主なもの)

○オニゲシ : 初夏に、径 9~12cm の橙~朱色の大きな花を咲かせます (花びらは 4~6 枚、基部に黒紫色の斑点があるものとなないものがある)。つぼみを覆う 2 枚のがく片の表面には直立した毛が多数ついています。

- アイスランドポピー
- ヒナゲシ (虞美人草)
- ブルーポピー

お問い合わせは・・・

宮崎県医療薬務課薬務対策室

宮崎市橘通東 2 丁目 10-1

TEL 0985-26-7060

都城保健所

都城市上川東 3 丁目 14-3

TEL 0986-23-4504

\*このページは、厚生労働省発行の「大麻・けしの見分け方」を参考に作成しています。